

社会福祉協議会

広がる・深まる 地域の絆!	P.1
各区・各学区社協の取組 各学区社協の重点目標	P.2-3
市社協通信 大雨災害の被災者を支援 福祉用具の展示コーナーを常設! 広報サポーター募集のお知らせ	P.4

広がる・深まる 地域の絆!

今日の貧困・孤立の問題等が深刻化し、各地で災害による被害が生じる中、京都市の社会福祉協議会では、市、区、学区の三層の社協が連携して、住民の皆様や関係機関・団体の皆様とともに、「地域の絆づくり」をはじめ、「チャレンジ就労体験事業」、災害ボランティア支援などを積極的に推進しています。

社協の総合力とネットワークを活かして、住民の福祉ニーズの充足や地域課題の解決、身近な地域における支え合い活動、住民参加の促進と担い手の確保等の課題に引き続き取り組みます。

2190
学区で

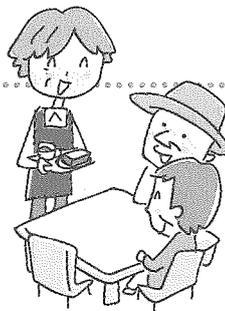
地域の絆づくり事業 ただいま進行中!

誰でも気軽に集まれる

居場所づくり

地域では、楽しい交流と世代を超えたふれあいの輪を広げる開放型の喫茶型サロンの取組が広がっています。

気軽に会話を楽しめ、いざという時にはお互い様で支え合うことができる拠点になっています。



開催

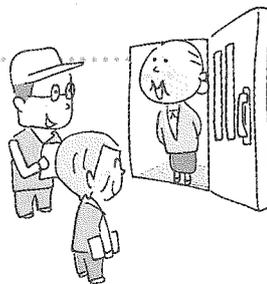
79学区

前年度比
21学区増

地域での

見守り活動

孤立防止や災害時の支援を目的とした見守り活動を進めるため、京都市と「地域の見守り活動促進事業」の協定を締結して、民生児童委員や地域包括支援センターと連携して、京都市の貸出名簿を活用した見守り活動を進めています。



締結

216学区

前年度比
9学区増

ちょっとした困りごとにも対応

相談活動

居場所づくりや見守り活動が進む中、生活・福祉課題を抱える人に対して、行政や関係機関と協働した、身近な相談活動に取り組んでいます。

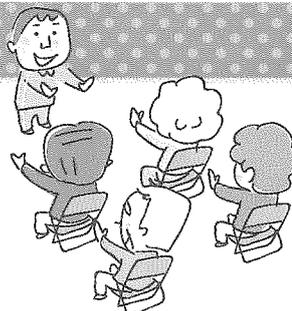


対応

69学区

前年度比
27学区増

健康すこやか学級事業 15年目の取組!



実施 211学区

延べ利用者数114,765人
(25年度実績)

平成12年度の介護保険制度とともに始まり介護予防等のための支援事業として実施しています。

現在、学区社協の主要な活動として、多数のボランティアの協力のもと、実施されています。

東山区社協が進める 地域福祉の学区重点目標

1. 「担い手養成」(全11学区)

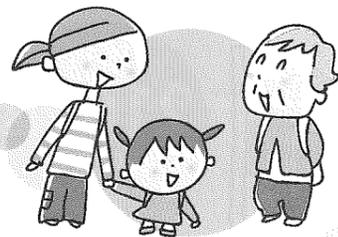
少子長寿化の進行が著しい東山区では、学区社協活動を企画・運営していく人材が各学区とも不足している現状が調査の時点で明らかになりました。

どうすれば活動の担い手になっていただけるのか議論し、「活動に参加しやすい工夫」「魅力ある活動に」「学校・福祉施設の協力」などの声のもと、区社協が「出前地域福祉講座」を通じて一緒に担い手づくりを進めていきます。



2. 「居場所づくり」(6学区)

坂道の多い学区があります。その学区の話題の一例ですが「高齢になり買い物に行くのも坂を下り、買い物をした重い荷物をもって坂道を上るのが大変」「道の途中で休憩できる場所があればいいね」という声から様々な地域の先行事例の学習も行いました。その結果『まちの縁側』(第3期東山地域福祉活動計画の推進目標)をつくっていきこうという声に繋がりました。



3. 「見守り・相談強化」(3学区)

高齢者だけでなく、障がい者、子育て中の世帯をはじめ、孤立する恐れのある住民や外出することが困難な住民に対して、身近な相談者になれるようにしていきたいという思いが強く感じられました。

上記1～3の重点目標を推進するには、学区社協、民生児童委員協議会、老人福祉員をはじめとした地域団体、地域包括支援センターなどの関係機関のネットワークが重要です。そして何よりも住民一人ひとりが、地域福祉活動の推進に関わっていただくことが重要です。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい居場所・見守りのあり方

新道学区社協では、住民が気軽に集える場、買い物のついでに立ち寄れる休憩場所として「まちの縁側」をつくっていく目標を立てました。最初の取組として、夏の暑い時間帯に自宅でエアコンも付けずに暑さを我慢して生活している住民の憩いの場として、“ヒンヤリ涼み処”を開設しました。自宅の節電にもなり、学区のエコ活動にもなります。この場所に高齢者をはじめ障がいのある方も自由に入出入りすることができます。また、学区社協はじめ、民生児童委員や老人福祉委員、包括支援センターの協力で、個別相談にも対応できる体制にしています。新道学区社協会長の山田会長にお話しをお聞きしますと、「町内に自然にあった井戸端会議を意図的に仕掛けて、住民同士の交流の場になるようにしたい」とのこと。「もちろん冬は、“温まり場”の開設もしますよ」。



▲新道学区 “ヒンヤリ涼み処”

地域福祉活動を進める担い手の確保

修道学区社協の活動を進めていく中で、一番大きな課題が活動を支えてくれる人材です。

高齢社会になり、ますます活動を担っていただける人材が見つけにくくなっている現状もあります。そのような状況の中、白河総合支援学校東山分校が開校し、修道学区社協と学校の生徒との関わりについて話し合い、実践しています。

学校は、生徒の地域住民との関わりを通じてコミュニケーションを学ぶことを大事にし、学区社協は、若い元気のあるパワーを貸してもらえるように考えました。住民と生徒の交流の場として健康すこやか学級事業などで一緒に食事を作って食べる活動や配食サービス事業を実施しています。学区社協活動に生徒の参加で地域福祉活動を推進していく力になるように考え、実践しています。



▲修道配食サービス



◀修道すこやか学級での食事の配膳

修道学区の活動理念

「生きいきと、笑顔がむすぶ ふくしのまち
触れ合い、助け合い、支え合う人と人の絆」

修道七夕会食会で地域の方と一緒に体操



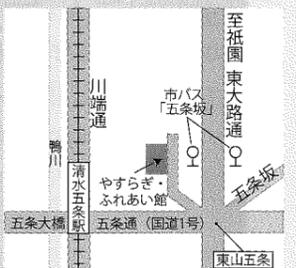
問合せ 社会福祉法人 京都市東山区社会福祉協議会

〒605-0863 京都市東山区五条通大和路東入5丁目 梅林町576-5
やすらぎ・ふれあい館内

TEL.(075)551-4849 FAX.(075)551-4858

東山区社協 検索

http://www.yasufurekan.com
E-mail : yasufurekan@yasufurekan.com



大雨災害の被災者を支援

右京区京北地域では、8月16日からの大雨により土砂が流れ込む被害が出ました。市社協では、右京区社会福祉協議会とともに、右京区役所京北出張所の協力を得て、市災害ボランティアセンターの京北ブランチを設置しました。8月19日～21日の間、学区社協や一般募集のボランティアなど、延べ170名により、床下の泥出しや土砂の搬出などの支援を行いました。



ひと・まち交流館 京都 福祉用具の展示コーナー を常設！

ひと・まち交流館では、4月から1階に「福祉用具展示コーナー」を開設し、これまでの自助具と一体的に展示しています。



▲個々の福祉用具を見て触って比べていただけます。

約500点の福祉用具を展示

展示コーナーにはベッド、車いすなどを展示し、相談員による相談やアドバイスを受けることができます。

様々な講座を毎月開催

一般市民の方を対象に、介護や福祉用具に関わる様々なテーマで講座を開催しています。

福祉用具や介護、講座等に関するお問合せは下記まで。

●問合せ先 社会福祉研修・介護実習普及センター
☎354-8772

京都市社協 広報サポーター募集の お知らせ

市社協では、広報誌などを分かりやすく親しみのあるものとするため、お知恵をお貸しいただける方を募集しています！

募集要項

- ◆応募資格 京都市内に在住又は通勤若しくは通学されている方
- ◆活動内容 市社協が開催する会議にご出席いただき、広報などのアドバイスをいただきます。
- ◆活動回数 年数回
- ◆任期 2年間
- ◆応募方法 住所、氏名(フリガナ)、電話番号、年齢、性別、職業をご記入のうえ、下記あて封書又はFAXでご応募ください。
- ◆応募締切 平成26年12月12日(金)(必着)
- 応募・問合せ先 総務部
☎354-8731 ㉠354-8736

問合せは

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

平成26年度版 10月発行

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731(代表) FAX.(075)354-8736

http://www.syakyo-kyoto.net/ E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp

社協の活動を映像でご覧いただけます

京都市社協

検索

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。

